

浦和レッズ観戦者調査(2006年12月2日実施)概要

(数値はいずれもパーセント)

1. 居住地

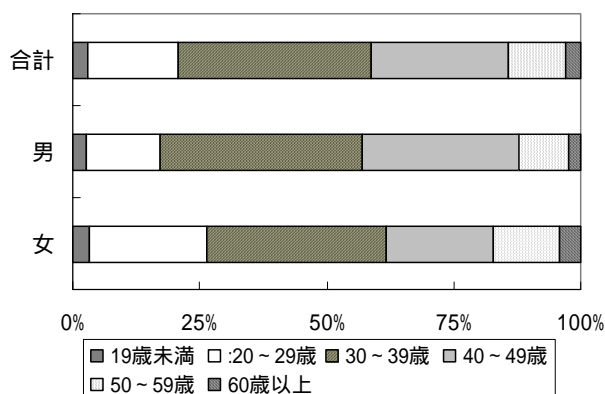
観戦者は青森県から兵庫県にかけて分布しているが、埼玉県が77.0%と4分の3を占め、浦和レッズが埼玉県民に支えられていることが改めて裏付けられた。また、東京都が10.5%と1割を超えるなど埼玉県以外の関東が20%近くに達し、隣接する都県に広がりを見せ始めている。県内を都市別にみると、さいたま市が県内比率39.7%と4割を占めた。隣接する川口市、埼玉スタジアムに近い越谷市、春日部市と県南部が続くが、熊谷市、所沢市なども上位に顔を出している。また、さいたま市内を旧4市別に見ると、旧浦和市が市内比率63.3%と3分の2近くに達した。ただ、全体との対比では19.4%と2割を割り込んだ。

都道府県別		埼玉県内都市別				さいたま市内旧市別					
			対総数	対県内		対総数	対県内		対総数	対県内	対市内
埼玉県	77.0	さいたま市	30.6	39.7	戸田市	1.0	1.3	旧浦和市	19.4	25.1	63.3
東京都	10.5	川口市	6.7	8.7	南埼玉郡	1.0	1.3	旧大宮市	5.1	6.6	16.7
神奈川県	3.1	越谷市	3.3	4.3	狭山市	0.9	1.1	旧与野市	2.8	3.6	9.0
千葉県	2.6	春日部市	2.8	3.6	鴻巣市	0.9	1.1	旧岩槻市	1.9	2.5	6.2
群馬県	1.6	上尾市	2.2	2.8	蕨市	0.9	1.1	不明	1.5	1.9	4.8
栃木県	1.5	北葛飾郡	2.2	2.8	朝霞市	0.9	1.1				
茨城県	0.7	草加市	1.7	2.3	坂戸市	0.9	1.1				
新潟県	0.4	熊谷市	1.5	1.9	羽生市	0.7	0.9				
三重県	0.4	所沢市	1.5	1.9	入間市	0.7	0.9				
その他	2.2	深谷市	1.3	1.7	北本市	0.7	0.9				
		久喜市	1.3	1.7	富士見市	0.7	0.9				
		三郷市	1.3	1.7	蓮田市	0.7	0.9				
		川越市	1.2	1.5	吉川市	0.7	0.9				
		新座市	1.2	1.5	その他	6.6	8.5				
		加須市	1.0	1.3							

2. 年齢

観戦者の男女比は男性61.8%、女性38.2%だった。年齢では30~39歳が38.1%と最も多く、40~49歳、20~29歳、50~59歳と続いた。

年齢別構成

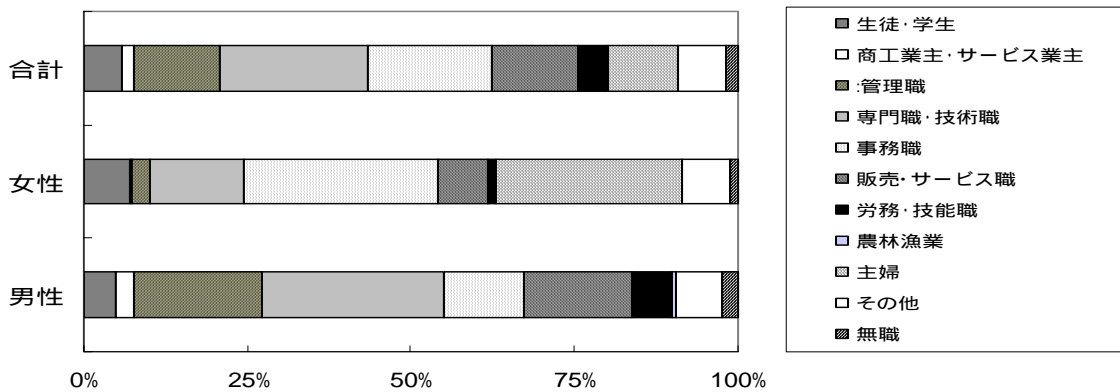


	合計	男性	女性
19歳未満	3.1	2.8	3.4
20~29歳	17.7	14.4	23.1
30~39歳	38.1	39.9	35.2
40~49歳	27.0	30.7	21.2
50~59歳	11.0	9.9	12.9
60歳以上	3.1	2.4	4.2

3. 職業

観戦者の職業は、男性は「専門職・技術職」「管理職」合わせて47.2%と圧倒的に多く、女性は「主婦」に次いで「事務職」「専門職」と続いた。観戦者の38.2%が女性であることや、最終学歴は大学院3.0%、大学48.3%となっていることを併せて考えると、レッズのファン・サポーターの特徴は、欧米で一般に言われる「サッカーファンは労働者階級」というよりも、多くの「高学歴の管理職、専門・技術職」に支えられており、日本社会の構図に似通った姿となっている。

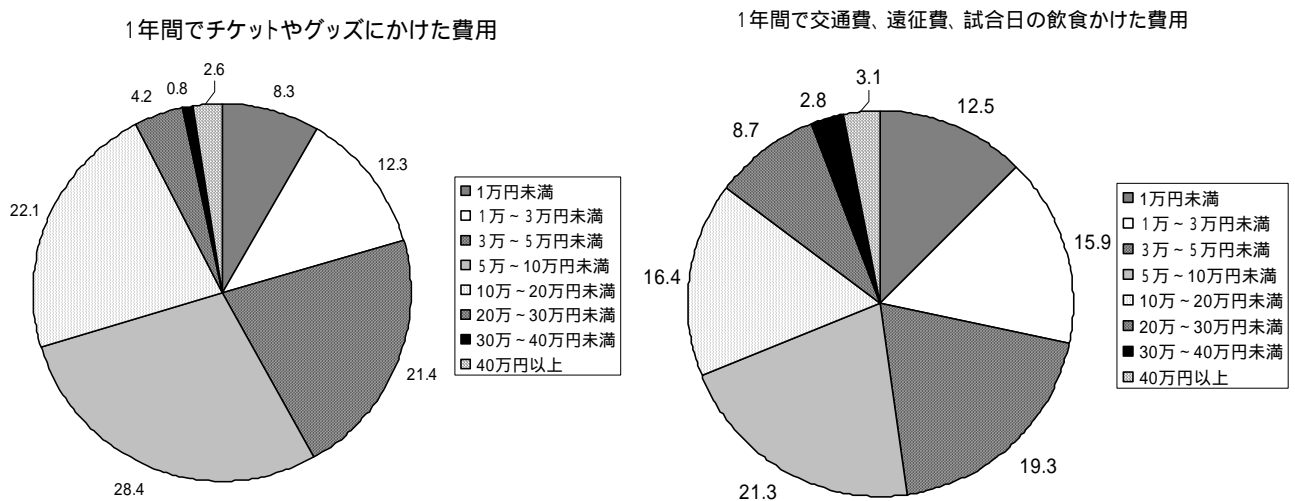
### 職業別構成



	生徒・学生	商工業主・サービス業主	管理職	専門職・技術職	事務職	販売・サービス職	労務・技能職	農林漁業	主婦	その他	無職
男性	4.9	2.8	19.5	27.7	12.4	16.4	6.1	0.5	0.0	7.3	2.3
女性	6.9	0.4	2.7	14.6	29.6	7.7	1.2	0.0	28.5	7.3	1.2
合計	5.7	1.9	13.1	22.7	19.0	13.1	4.2	0.3	10.8	7.3	1.9

### 4. 浦和レッズに費やした年間費用

2006年の1年間に浦和レッズの試合観戦のためにかけた費用は、チケットやグッズ購入の平均額は約89,300円、遠征費や交通費にかかった費用の平均額は約96,000円、これらを合計した平均は約185,300円だった。調査日の観戦者のうち6万人が浦和レッズのファン・サポーターと仮定すると、浦和レッズにかけた年間総費用は、調査日の観戦者分だけでもおよそ112億円となる。

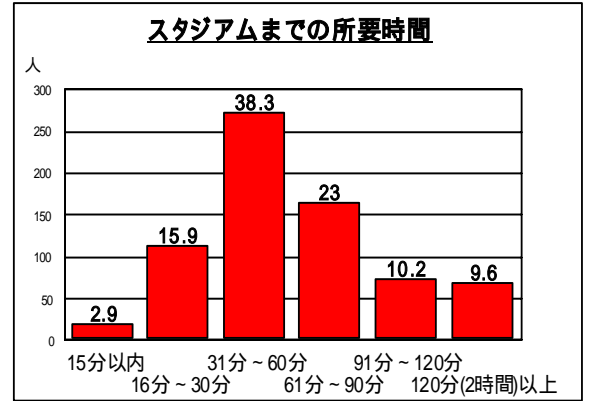
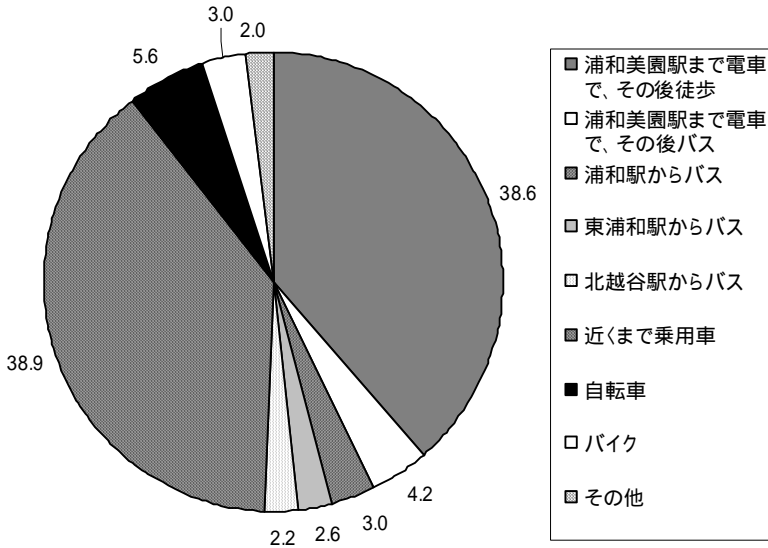


### 5. 埼玉スタジアムへのアクセス(交通)

スタジアムへのアクセス手段は、「近くまで乗用車」が38.9%と最も多く、次にスタジアムまで1.2キロの「浦和美園駅まで電車、その後徒歩」(38.6%)と両方で77.5%を占めた。「浦和駅からバス」「東浦和駅からバス」「北越谷駅からバス」は2.2～3.0%にとどまる一方、公共交通機関が不便なためか、中心市街地から離れているにもかかわらず自転車が5.6%あった。

また、埼玉スタジアムまでの所要時間は、「31～60分」が38.3%と最も多く、「61～90分」(23.0%)と続いた。「120分以上」との回答も9.6%あった。平均所要時間は61分だった。

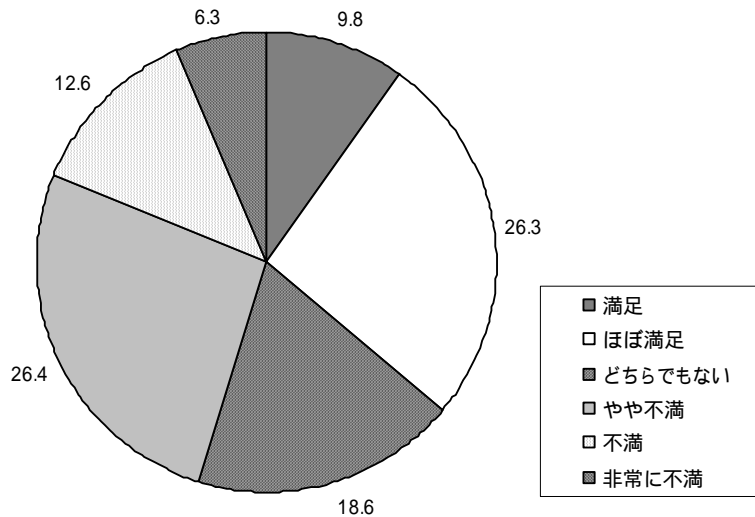
埼玉スタジアムまでのアクセス(交通)手段



## 6. アクセス(交通)の満足度と改善点

埼玉スタジアムへのアクセス満足度は、「満足」(9.8%)、「ほぼ満足」(26.3%)の合計は約3分の1にとどまり、逆に、「非常に不満」(6.3%)、「不満」(12.6%)、「やや不満」(26.4%)を合わせた 45.3%が不満を感じている。アクセス手段別の不満度は「バス利用者」(50.0%)、「電車のみ利用者」(50.7%)、「自転車利用者」(50.0%)が平均より高かった。アクセスで改善すべきと考える点は、「埼玉高速鉄道の延伸」(45.1%)、「駐車場の拡大」(42.7%)、「道路の渋滞緩和」(36.7%)が飛びぬけて多かった。

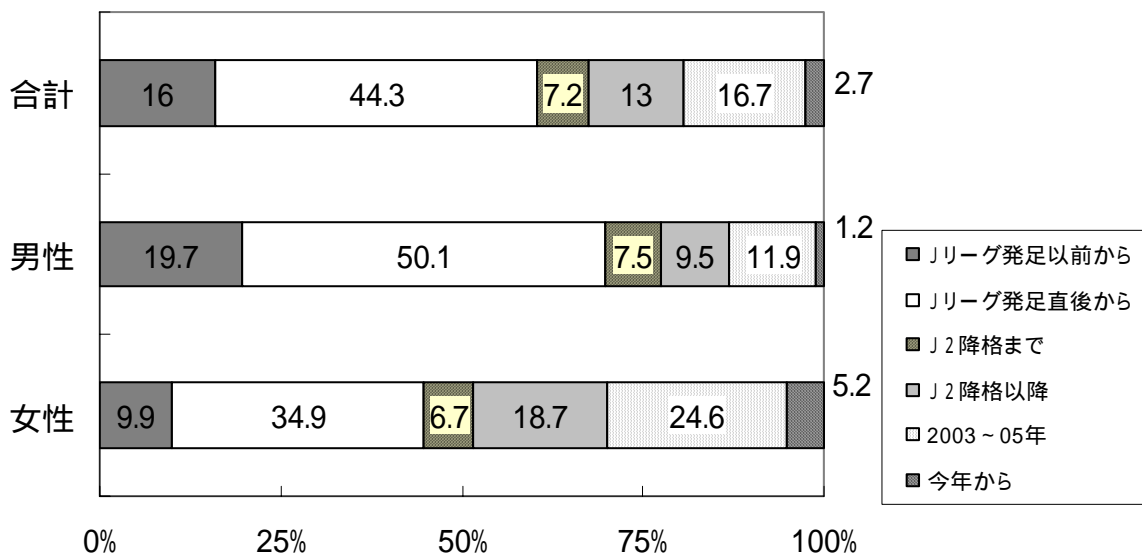
埼玉スタジアムまでのアクセス(交通)の満足度



## 7. ファン・サポーターになった時期

観戦者が浦和レッズのファン・サポーターになった時期は、「Jリーグ発足直後」が44.3%と最も多かった。次いで、ヤマザキナビスコカップ(2003年)を皮切りにチームが強くなった「2003～05年」の16.7%、「Jリーグ発足以前」(16.0%)と続いた。男女別では、男性の「Jリーグ発足以前」が19.7%と2割近くに達した一方、女性は「2003～05年」(24.6%)、「2006年」(5.2%)を合わせ、2003年以降にファン・サポーターになった比率が3

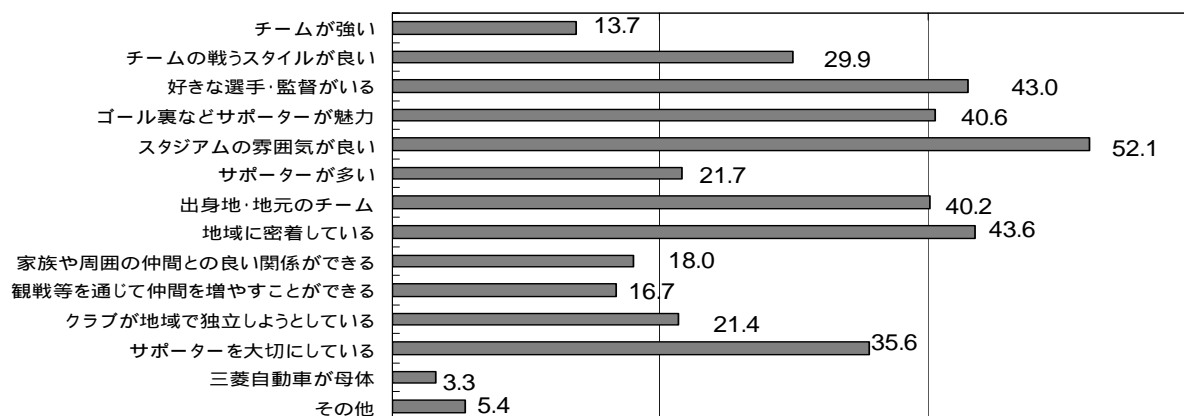
浦和レッズのファン・サポーターになった時期



## 8. 浦和レッズが好きな理由

浦和レッズが好きな理由(複数回答)で多かったのは、「スタジアムの雰囲気が良い」(52.1%)、「ゴール裏のサポーターが魅力」(40.6%)、「サポーターを大切にしている」(35.6%)などスタジアムや浦和レッズとサポーターの関係を背景にしたものが最も多く、「地域に密着している」(43.6%)、「出身地・地元のチーム」(40.2%)といったホームタウンとの関係を反映したものが続いた。「好きな選手がいる」(43.0%)、「チームの戦うスタイルが良い」(29.9%)というチームの魅力にひかれるものを合わせた3類型が支持の「3大要素」だった。

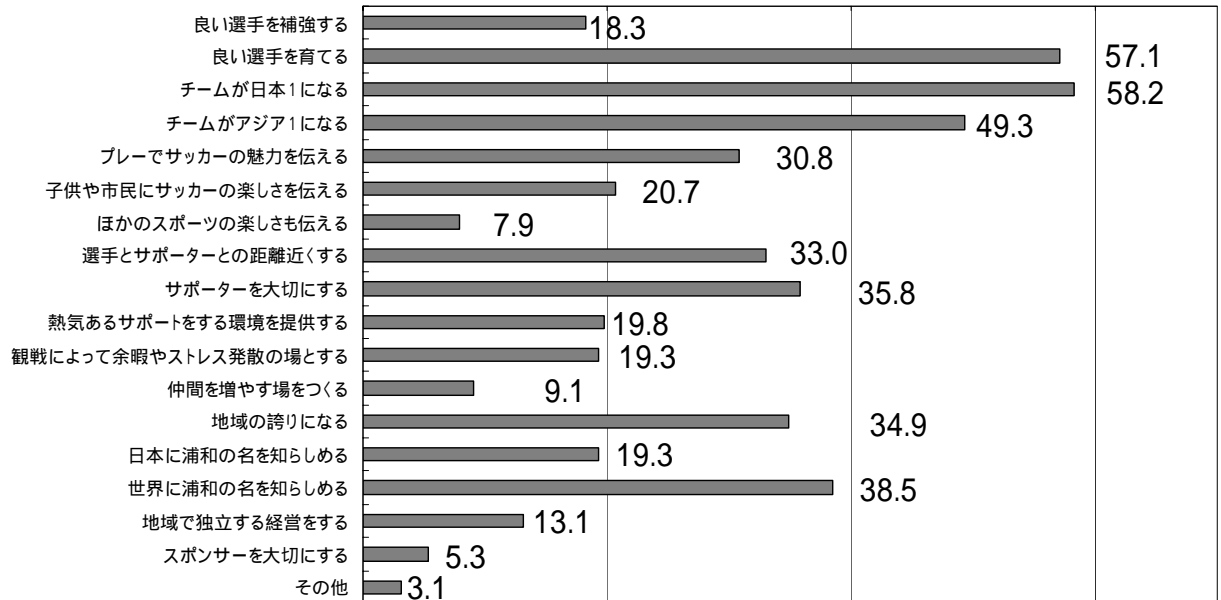
浦和レッズが好きな理由



## 9. 浦和レッズへの期待

今後の浦和レッズに期待すること(複数回答)は、「チームが日本1になる」(58.2%)と「良い選手を育てる」(57.1%)、「チームがアジア1になる」(49.3%)が圧倒的に多かった。ファン・サポーターとの関係や地域との

浦和レッズに期待すること



つながりを強めてきた浦和レッズに対し、今度はサッカーそのものの強さに期待する構図となった。

## 10. 好きな選手がいなくなったら？

浦和レッズに好きな選手がいなくなった場合の観戦行動を聞いたところ、「変わらずに観戦を続ける」が87.9%と、9割近くに達した。「これまでよりは観戦回数を減らす」は3.2%、「浦和レッズの観戦はやめる」は0.8%にとどまった。

好きな選手がチームからいなくなったらどうするか

